



総領

夏祭り

納涼神楽の夕べ

日時

7月14日(土)

【開場】14:30 【開演】15:00

場所

里山総領体育館

(庄原市総領町下領家61)

総領地域をあげての「夏祭り」、納涼神楽の夕べを開催します。
地域の皆さんによる色々な出店もあります。
美味しいものをいっぱい食べながら、心ゆくまで神楽をお楽しみいただけます。
ご家族、ご近所お誘い合わせてお越しください!

出演 **山王神楽団**
(山県郡北広島町)



各種出店も
あります

主催 里山を楽しむ町イベント実行委員会

共催 庄原市

お問合せ 事務局:庄原市総領自治振興センター

TEL:0824-88-3067 FAX:0824-88-2021

さん おう か ぐら だん 山王神楽団

プロフィール

明治中期に地元、山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足しました。

当神楽団は、昭和25年、神社に奉られている「山王権現」から名を頂き「山王神楽団」となり、現在に至ります。

近年においては、ロシア・サンクトペテルブルグ建都300周年に千代田混成神楽団の一団体として参加したほか、日韓芸術交流公演で韓国のコリアンファンタジーとともに、国立劇場にて公演するなど、県外の公演にも力をそそいでおります。

今後も「演技の粋をかたむけて」を目標に、芸の修得に取り組み、文化の伝承、保存に努めてまいりますので、ご支援、ご指導賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

演目あらすじ

滝夜叉姫

平安時代、東の国の新皇を名乗った平将門（たいらのまさかど）は、天慶（てんぎょう）の乱で藤原秀郷（ふじわらのひでさと）・平貞盛（たいらのさだもり）の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫（さつきひめ）（または瀧姫（たきひめ））は父の怨念を果たす為、貴船（きふね）の社（やしろ）に「願」をかけ、満願と共に貴船の神より妖術を授かります。五月姫は名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・猿島（さしま）の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀（おおやのちゅうじょうみつくに）らは、朝命を奉じて下総の国へと向かい、陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

恵比寿

恵比寿は、出雲の神さま大国主命（おおくにぬしのみこと）の第一子・事代主命（ことしろぬしのみこと）が釣り上手で、美保の御崎（みさき）まで出かけ、大きな鯛（たい）を釣り上げたことを祝い、喜び、舞い納めます。

これは、漁村では大漁（たいりょう）を海の神さまに感謝し、農村では豊作（ほうさく）を田の神さまに感謝する姿なのです。

そして、現代においては、日々の暮らしの中の商売繁盛を願う姿でもあります。

八岐大蛇

出雲の国に暮らす足名椎（あしなづち）・手名椎（てなづち）老夫婦には八人の娘がいました。

しかし年毎に一人またひとりと八岐大蛇に飲み取られ、七人もの娘を失いました。

そしていよいよ八人目の娘が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の娘・奇稲田姫（くしいなだひめ）は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原（たかまがはら）から舞い降りた須佐乃男命（すさのおのみこと）が通りかかり、その訳を聞きます。

命は、奇稲田姫を救うことが出来れば妻にすることを約束して大蛇退治を決めます。そして老夫婦に八塩折（やしおり）という強い酒を造らせ、その酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。

これを待ち構えていた命は、壮絶な戦いの末、次々と大蛇を退治します。大蛇の腹を切り裂くと、一本の剣が出てきます。これを天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）と名づけ、天照大神（あまてらすおおみかみ）に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

駐車場は会場周辺「里山総領体育館周辺・総領保健福祉センター前・市役所総領支所周辺・JA庄原総領支店」の駐車場をご利用ください。

アクセス

